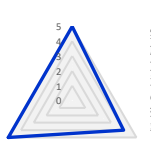


6 快適で利便性に富んだまち

総合基本計画関連ページ		
第5章施策の体系		
6 快適で利便性に富んだまち		232ページ
附属資料		
1 基本計画（第5章）施策の体系 政策指標における現状値		284ページ
基本施策6-① 公共交通網の充実		
46 A バス年間乗客数を増やします		
Aバス乗降客数 97,646人（令和2年度時点）		
【評価対象事業】		
87交通機関対策等事業		交通対策課
47自転車等駐車場の利用率を高めます		
各月平均自転車等駐車場利用率 32.0%（令和2年度時点）		
【評価対象事業】		
88自転車等駐車場管理事務		交通対策課
48東京都シルバーパスの保有者数を増やします		
東京都シルバーパスの保有者数 5,895人（令和2年9月時点）対象外		
基本施策6-② 道路環境の整備		
49事業化された都市計画道路の整備を着実に進めます		
都市計画道路3・4・1号末整備率 64%（令和2年度末時点）		
【評価対象事業】		
89都市計画道路3・4・1号第1期整備事業		建設課
50歩道の延長と幅員の確保により、快適な歩行空間をつくれます		
歩道の延長距離 総延長79,763m（令和2年度末時点）		
歩道の総面積 226,847㎡（令和2年度末時点）		
【評価対象事業】		
90道路維持管理事務		管理課
91市道舗装改修等事業		建設課
92管内道路整備事業		管理課
51交差点付近の植樹帯・街路樹を整備し、視界を確保します		
1箇所（延長16.5m、幅1.25m、面積23.10㎡）（令和2年度時点）		
【評価対象事業】		
90道路維持管理事務		管理課
92管内道路整備事業		管理課
基本施策6-③ 深層地下水100%水道水の供給		
52直接飲用率を高めます		
水道水をそのまま飲む市民の割合 72.1%（令和元年時点）		評価対象外
53管路の耐震適合率を高めます		
管路の耐震適合率 56.8%（令和2年度末時点）		評価対象外
基本施策6-④ 下水道の維持管理		
54公共下水道雨水管の重点整備を推進します		
公共下水道雨水管の整備率 46.4%（令和2年度末時点）		評価対象外
54下水道施設老朽化対策を推進します		
下水道施設老朽化対策の整備率 6%（令和2年度末時点）		評価対象外
基本施策6-⑤ 市街地の整備		
55まちなみや景観を美しいと思う市民の割合を増やします		
昭島のまちなみや景観を「美しいと思う」「やや美しいと思う」市民の割合 57.9%（令和元年時点）		
【評価対象事業】		
93都市計画審議会事務		都市計画課
94都市計画推進事業		都市計画課

56	住み続けたいと思う市民の割合を増やします（再掲） 昭島市に「今後とも住み続けたい」「どちらかというに住み続けたい」と思う市民の割合 81.8%（令和元年時点） 【評価対象事業】 93都市計画審議会事務	都市計画課
基本施策6-⑥快適な公園の確保		
57	市民一人当たりの公園面積を増やします 市民一人当たりの公園面積 10.84㎡（令和2年時点） 【評価対象事業】 95公園維持管理事務 96児童遊園維持管理事務	管理課 管理課
基本施策6-⑦住環境の保全		
58	市民の健康で快適な生活を守るため、大気環境、水環境、音環境などについての環境基準を全て達成します 環境基準 大気環境：達成（令和2年度時点） 水環境 ：達成（令和2年度時点） 【評価対象事業】 97公害調査・測定等事務 環境基準 準環境 ：達成（令和2年度時点） 【評価対象事業】 98航空機騒音調査事務	環境課 環境課

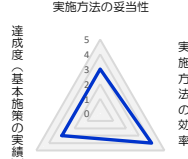
令和8年度 事務事業評価（内部評価）シート （令和7年度実施事業）

事務事業名		交通機関対策等事業								事業開廃年度		平成13年度 継続			
基本データ	予算科目	款	02	項	01	目	01	細目	009	細々目	01	部	都市整備部	課長	大貫幸人
		款名	総務費								課	交通対策課	担当	光畑辰弘	
	総合基本計画の体系	6快適で利便性に富んだまち 6-① 公共交通網の充実 Aバス年間乗客数を増やします								係		交通対策係	電話	2504	
	根拠法令等									法令による事業実施義務		☐ 義務(☐ 市上乗せあり) ☐ 任意(☐ 都補助等あり)			
	SDG's17の目標	 11 住み続けられるまちづくりを													
事業の概要	事業概要	対象				目的									
	実施内容	鉄道、バス等公共交通機関 公共交通手段の維持・確保、利便性の向上、交通不便地域解消。 中央線三鷹・立川間立体化複々線促進協議会等複数の協議会により他市との連携を図り、鉄道等事業者等へ広域的かつ各地域における状況・課題に即した要望活動を行う。また、市内の公共交通不便地域の解消を目的としたコミュニティバス（Aバス）の運行を維持・確保する。													
事業の実績	事業費（コスト）の推移		(単位)	R6決算	R7当初予算	R7決算	R8当初予算	備考＜特財名称等＞							
	直接事業費		千円	85,721	98,448	89,245	137,318								
	財源内訳	国庫支出金	千円												
		都支出金	千円												
		地方債	千円												
		その他特定財源	千円												
		一般財源	千円	85,721	98,448	89,245	137,318								
	一般職員人件費		千円	4,253	4,334	4,334	4,528								
	人工数		人	0.50	0.50	0.50	0.50								
	再任用職員人件費		千円	1,434	1,698	2,830	3,089								
	人工数		人	0.30	0.30	0.50	0.50								
	再任用代替会計年度任用職員人件費		千円												
	人工数		人												
	総事業費		千円	89,974	102,782	93,579	141,846								
	基本施策の現状値						(時点)								R5実績
Aバス乗降客数 97,646人						令和2年度	140,473人	163,445人	173,001人						
事業の評価	実施方法の妥当性		5	各協議会は定期的開催され、国や鉄道事業者等への要請活動についても継続的に実施している。コミュニティバスについては、ルートの一部延伸を図りさらなる不便地域の解消を進めた。また、次世代型車両への更新の検討を進め、予算の範囲内にて運行を維持した。											
	実施方法の効率性		4	コミュニティバスについては、ルートの一部延伸を図りサービスの向上に努めた。経費については、車両修繕費やルート延伸に伴うバス停新設費用が発生したため、前年度比4.0%の増となった。											
	達成度（基本施策の実績）		5	令和2年のAバス乗降客数の現状値である97,646人に対し、令和7年度実績は173,001人と43.6%上回っている。											
	DXへの取組		取り組み推進へ向け準備中				AI・RPA導入の可能性	該当事務なし							
	個別評価	合計点 14	今後の方向性	(前年度 現状を維持) → E 現状を維持											
達成度（基本施策の実績） 		総合評価		Aバスの年間乗客数は前年と比較した場合9,556人（5.8%）の増加となっている。総合基本計画での令和2年の現状値である97,646人に対し、令和7年度実績は173,001人と上回っている。また、CNGガステーション廃止に伴うCNGバス車両を次世代型バスへ更新する検討にあわせキャッシュレス決済が可能な運賃箱の導入の検討も進めた。											

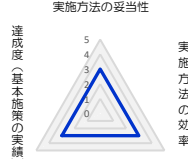
令和8年度 事務事業評価（内部評価）シート （令和7年度実施事業）

事務事業名		自転車等駐車場管理事務							事業開廃年度		昭和49年度				
											継続				
基本データ	予算科目	款	02	項	01	目	13	細目	001	細々目	01	部	都市整備部	課長	大貫幸人
		款名	総務費							課	交通対策課	担当	光畑辰弘		
	総合基本計画の体系	6快適で利便性に富んだまち 6-① 公共交通網の充実 自転車等駐車場の利用率を高めます							個別計画						
	根拠法令等	自転車法、昭島市自転車等の放置防止等に関する条例、昭島市自転車等駐車場条例							法令による事業実施義務		☒ 義務(☐ 市上乗せあり) ☐ 任意(☐ 都補助等あり)				
	SDG's17の目標	 11 住み続けられるまちづくりを													
事業の概要	事業概要	対象				目的									
	実施内容	市民及び駅周辺への乗り入れ自転車。駅周辺を中心とした公共の道路及び自転車駐車場 駅周辺の放置自転車等をなくすために設置された自転車等駐車場の適正円滑な管理。 ①指定管理者による管理運営 ②直営事務（施設修繕、土地借賃貸借事務、使用料収納事務、使用料還付事務、使用料免除事務） 施設数19箇所、収容総数台11,976台													
事業の実績	事業費（コスト）の推移		(単位)	R6決算	R7当初予算	R7決算	R8当初予算	備考＜特財名称等＞							
	直接事業費		千円	154,739	223,001	219,077	168,383	【その他特定財源】 ・行政財産使用料 ・自転車等駐車場使用料							
	財源内訳	国庫支出金	千円		52,400	48,100									
		都支出金	千円		4,600										
		地方債	千円												
		その他特定財源	千円	115,377	113,516	108,309	115,393								
		一般財源	千円	39,362	52,485	62,668	52,990								
	一般職員人件費		千円	8,506	8,667	8,667	9,056								
	人工数		人	1.00	1.00	1.00	1.00								
	再任用職員人件費		千円												
	人工数		人												
	再任用代替会計年度任用職員人件費		千円												
	人工数		人												
	総事業費		千円	163,245	231,668	227,744	177,439								
	基本施策の現状値							(時点)	R5実績	R6実績	R7実績				
各月平均自転車等駐車場利用率 32.0%							令和2年度	60.4%	60.0%	57.2%					
事業の評価	実施方法の妥当性		5	道路上の放置自転車防止と施設利用者の利便性向上のため、新規施設の開設やキャッシュレス決済を導入するなど実施方法を前年度より一部変更しサービスの向上に努めた。											
	実施方法の効率性		3	キャッシュレス決済の導入、新規施設の開設などによりサービス量は増加したが、大規模な設備更新を実施したことなどにより総事業費は前年と比較し39.5%増加した。											
	達成度（基本施策の実績）		5	令和2年の各月平均自転車等駐車場利用率の現状値である32%に対し、令和7年度実績は57.2%と現状値を25.2%.上回っている。											
	DXへの取組		検討中			AI・RPA導入の可能性		該当事務なし							
	個別評価	合計点 13	今後の方向性	(前年度 現状を維持) → E 現状を維持											
		総合評価	東中神駅周辺施設が常時飽和状態であり施設の拡張要望が多くあったことにより、東中神駅南側第二を開設し収容台数の増加を図った。また、経年により拝島駅南口地下のゲート等設備一式の更新を図るとともにキャッシュレス決済に対応した精算機を導入しDX化の推進と利用者への利便性の向上を図った。当該施設よりも駅の近くに民間の時間貸し駐輪場が増加、また、在宅勤務の定着により利用者が減少し、使用料収入は減少傾向にあるが、引き続き道路上の放置自転車撤去業務と並行して安定的な自転車等駐車場の維持管理に努める。												

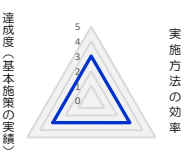
令和8年度 事務事業評価（内部評価）シート （令和7年度実施事業）

事務事業名		都市計画道路3・4・1号第1期整備事業								事業開廃年度		平成6年度 継続			
基本データ	予算科目	款	08	項	03	目	04	細目	002	細々目	01	部	都市整備部	課長	小野瀬 歳紀
		款名	土木費								課	建設課	担当	小林 正和	
	総合基本計画の体系	6快適で利便性に富んだまち 6-② 道路環境の整備 事業化された都市計画道路の整備を着実に進めます								係	都市計画道路担当	電話	内線2572		
	根拠法令等	都市計画法第59条								法令による事業実施義務		☐ 義務(☐ 市上乗せあり) ☒ 任意(☒ 都補助等あり)			
	SDG's17の目標	 11 住み続けられるまちづくりを													
事業の概要	事業概要	対象 都市計画道路3・4・1号				目的 都市計画道路の整備により国道、都道などの緊急輸送道路との連携及び市役所周辺を含めた道路ネットワークの向上と、無電柱化路線とすることで、災害時の避難路や救援路の確保を行う									
	実施内容	事業認可を受けた路線延長1,274mの内、開通済みは813m、整備率は64%である。 未整備区間は鉄道の立体交差工事を含む461mを令和12年度末の開通を目標に事業を進めている。 令和7年度は令和4年度に締結した鉄道事業者との協定に基づいた鉄道立体交差の施工および協定工事を施工している業者との随意契約により協定工事に隣接した鉄道立体交差施設の築造工事を進めている。													
事業の実績	事業費（コスト）の推移		(単位)	R6決算	R7当初予算	R7決算	R8当初予算	備考＜特財名称等＞							
	直接事業費		千円	766,243	784,500	839,116	742,100	社会資本総合交付金 東京都市町村土木補助							
	財源内訳	国庫支出金	千円	189,000	262,800	329,300	151,500								
		都支出金	千円	94,500	131,400	164,650	75,750								
		地方債	千円												
		その他特定財源	千円												
	一般職員人件費		千円	21,265	21,668	21,668	22,640								
	人工数		人	2.50	2.50	2.50	2.50								
	再任用職員人件費		千円												
	人工数		人												
	再任用代替会計年度任用職員人件費		千円												
	人工数		人												
	総事業費		千円	787,508	806,168	860,784	764,740								
	基本施策の現状値								(時点)	R5実績	R6実績	R7実績			
	都市計画道路3・4・1号整備率 64%								令和2年度末	64.0%	64.0%	64.0%			
事業の評価	実施方法の妥当性		3	鉄道の立体交差化は、鉄道事業者と施工協定を締結し協定工事として施工を進める。それ以外は市の発注により計画的に事業を推進している。											
	実施方法の効率性		4	各年度の工事内容が違うため、前年度の工事費との比較が難しい。 よってコストは変化なし、サービス量（成果）は事業の進捗があったので増加と判断した。											
	達成度（基本施策の実績）		3	達成度（整備率）は「開通済み区間」としているため、部分的に事業を進めている状態であるが、開通延長に変化がないため、達成度の変化は無しとした。											
	DXへの取組		予定なし				AI・RPA導入の可能性		該当事務なし						
	個別評価	合計点 10	今後の方向性	(前年度 現状を維持) → E 現状を維持											
			総合評価	令和12年度末の開通に向けて事業を進めている状況である。 令和5年からは立体交差部の施工が始まり計画的に事業進捗中である。 今後、資材の価格高騰・調達不良の懸念事項はあるものの、市中央を通る重要な都市計画道路の整備として早期開通を目指し事業を行っていく。											

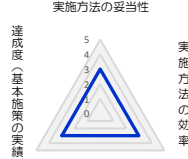
令和8年度 事務事業評価（内部評価）シート （令和7年度実施事業）

事務事業名		道路維持管理事務								事業開廃年度		継続									
基本データ	予算科目	款	08	項	02	目	02	細目	001	細々目	01	部	都市整備部	課長	高水 昭利						
		款名	土木費									課	管理課	担当	原島 大輔						
	総合基本計画の体系	6快適で利便性に富んだまち 6-② 道路環境の整備 歩道の延長と幅員の確保により、快適な歩行空間をつくります									係	維持係	電話	541-2222							
	根拠法令等										法令による事業実施義務		☐ 義務(☐ 市上乗せあり) ☒ 任意(☐ 都補助等あり)								
	SDG's17の目標	 11 住み続けられるまちづくりを																			
事業の概要	事業概要	対象				目的															
		昭島市道				道路の良好な状態を常時確保し、交通安全、事故防止、また、良好で快適な生活環境の実現を図る。															
	実施内容	街路樹せん定等委託、除草・草刈委託、清掃・点検委託、市道路線等維持補修委託																			
事業の実績	事業費（コスト）の推移		(単位)	R6決算	R7当初予算	R7決算	R8当初予算	備考＜特財名称等＞													
	直接事業費		千円	152,397	164,242	133,336	152,070	【その他特定財源】 ・道路使用料 ・拝島駅自由通路維持管理費負担金 ・公共施設整備等資金積立基金繰入金													
	財源内訳	国庫支出金	千円																		
		都支出金	千円																		
		地方債	千円																		
		その他特定財源	千円	128,633	128,422	117,450	118,400														
		一般財源	千円	23,764	35,820	15,886	33,670														
	一般職員人件費		千円	17,012	17,334	17,334	18,112														
	人工数		人	2.00	2.00	2.00	2.00														
	再任用職員人件費		千円	13,384	11,320	11,320	12,356														
	人工数		人	2.80	2.00	2.00	2.00														
	再任用代替会計年度任用職員人件費		千円																		
	人工数		人																		
	総事業費		千円	169,409	181,576	150,670	170,182														
	基本施策の現状値							(時点)	R5実績	R6実績	R7実績										
	歩道の延長距離 総延長79,763m							令和2年度	80,104m	80,658m	80,949m										
	歩道の総面積 226,847㎡							令和2年度	228,511㎡	230,656㎡	231,358㎡										
交差点付近の植樹帯・街路樹を整備し、視界を確保します 1箇所（延長16.5m、幅1.25m、面積23.10㎡）							令和2年度末	2箇所 6.0㎡	3箇所 9.0㎡	1箇所 64.9㎡											
事業の評価	実施方法の妥当性		3	定期的なパトロールによる早期発見早期対応が望ましいが、市民等からの苦情・要望に伴う補修等をはじめ日々の作業に時間を取られているのが現状である。																	
	実施方法の効率性		3	直営作業と委託を組み合わせることで効率的な対応を心掛けているが、苦情・要望されている件数に対し、処理が追い付いていないところもある。																	
	達成度（基本施策の実績）		3	道路維持補修及び道路清掃、街路樹せん定、除草委託等、限られた予算の中で効率よく円滑に業務を行っているが、市民要望はそれを上回っている。																	
	DXへの取組		予定なし				AI・RPA導入の可能性		該当事務なし												
	個別評価	合計点 9	今後の方向性	(前年度 成果拡大に向けて実施方法を見直し) → C 抜本的な見直し																	
			総合評価	道路補修や道路清掃などの毎年予算がほぼ同額のため、苦情の対応に苦慮している。市道における迅速な刈込や除草依頼も多いが、繁茂期の対応は気温の上昇により一部委託業者が対応できない事象に加え、直営の作業員の減少と高齢化もある。また委託対応以外の除草箇所も増えてきており、対応が遅れている状況にある。																	

令和8年度 事務事業評価（内部評価）シート （令和7年度実施事業）

事務事業名		市道舗装改修等事業費										事業開廃年度		不明 継続		
基本データ	予算科目	款	08	項	02	目	03	細目	002	細々目	02	部	都市整備部	課長	小野瀬 歳紀	
		款名	土木費										課	建設	担当	萩原 宏也
	総合基本計画の体系	6快適で利便性に富んだまち 6-② 道路環境の整備 歩道の延長と幅員の確保により、快適な歩行空間をつくります										係	土木	電話	内線2527	
	根拠法令等	道路法										法令による事業 実施義務		☐ 義務(☐ 市上乗せあり) ☒ 任意(☒ 都補助等あり)		
	SDG's17の目標	 11 住み続けられるまちづくりを														
事業の概要	事業概要	対象					目的									
		昭島市道					計画的な市道舗装改修と合わせ、可能な限り車道と歩道の段差解消や勾配緩和、歩道舗装（透水性舗装）の整備、視覚障害者誘導ブロック設置等の検討など、人にやさしい道路づくりを目指す。									
	実施内容	主に以下の市道の道路改修工事と委託業務を実施した。 昭島5号、7号、23号、30号道路改修工事、市民総合交流拠点周辺道路改修工事、 橋りょう改修工事設計委託、無電柱化推進計画業務委託 車道舗装 5,790㎡、歩道舗装 571㎡、横断防止用柵 168m														
事業の実績	事業費（コスト）の推移		(単位)	R6決算		R7当初予算		R7決算		R8当初予算		備考＜特財名称等＞				
	直接事業費		千円	172,874		198,600		158,951		299,500		東京都市町村土木補助				
	財源内訳	国庫支出金	千円													
		都支出金	千円	13,500		33,000		39,300		49,950						
		地方債	千円													
		その他特定財源	千円													
		一般財源	千円	159,374		165,600		119,651		249,550						
		一般職員人件費	千円	55,289		56,336		56,336		58,864						
		人工数	人	6.50		6.50		6.50		6.50						
		再任用職員人件費	千円													
		人工数	人													
		再任用代替会計年度任用職員人件費	千円													
		人工数	人													
		総事業費	千円	228,163		254,936		215,287		358,364						
		基本施策の現状値										(時点)	R5実績	R6実績	R7実績	
	歩道の延長距離 総延長79,763m										令和2年度	80,104m	80,658m	80,949m		
	歩道の総面積 226,847㎡										令和2年度	228,511㎡	230,656㎡	231,358㎡		
事業の評価	実施方法の妥当性		3	発注時期の平準化を図りつつ、計画的な市道舗装改修に努め、歩道の透水性舗装や横断防止柵の設置を実施した。												
	実施方法の効率性		3	工事内容が年度ごと、路線ごとで異なるため、比較が困難である。そのため、現状維持の横ばいとする。												
	達成度（基本施策の実績）		3	本事業は、現在開通している市道の改修工事であり、基本的に歩道の延長及び総面積の現状値に含まれているため、数値として表せない。												
	DXへの取組		予定なし					AI・RPA導入の可能性		該当事務なし						
	個別評価	合計点 9	今後の方向性	(前年度 現状を維持) → E 現状を維持												
			総合評価	計画的かつ継続的な市道舗装改修は、市民が安心して暮らせるまちづくりの一環として重要な事業である。令和7年度は、車道舗装、歩道舗装、防護柵の設置を行い、委託費では橋りょう補修設計と無電柱化推進計画更新を実施した。今後も、計画的に事業を進めたい。												

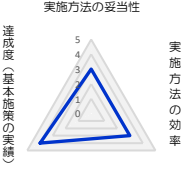
令和8年度 事務事業評価（内部評価）シート （令和7年度実施事業）

事務事業名		管内道路整備事業								事業開廃年度		継続			
基本データ	予算科目	款	08	項	02	目	03	細目	002	細々目	01	部	都市整備部	課長	高水 昭利
		款名	土木費								課	管理課	担当	町田 光二	
	総合基本計画の体系	6快適で利便性に富んだまち 6-② 道路環境の整備 歩道の延長と幅員の確保により、快適な歩行空間をつくります								係		管理係	電話	2506	
	根拠法令等	道路法								法令による事業実施義務		☒ 義務(☐ 市上乗せあり) ☐ 任意(☐ 都補助等あり)			
	SDG's17の目標	 11 住み続けられるまちづくりを													
事業の概要	事業概要	対象				目的									
	実施内容	昭島市道 主に以下の市道の道路補修工事（単価契約）を実施した。 ・昭島21号、南305号 ・車道舗装工：408㎡、歩道舗装工：153㎡、カラー舗装工：275.5㎡、L形側溝工：6.0m、人孔蓋取替・調整工：7箇所、視覚障害者誘導用シート設置工：1.4㎡													
事業の実績	事業費（コスト）の推移		(単位)	R6決算	R7当初予算	R7決算	R8当初予算	備考＜特財名称等＞							
	直接事業費		千円	20,000	20,000	20,000	20,000	【その他特定財源】 ・市町村総合交付金							
	財源内訳	国庫支出金	千円												
		都支出金	千円												
		地方債	千円												
		その他特定財源	千円			18,000	18,000								
		一般財源	千円	20,000	20,000	2,000	2,000								
	一般職員人件費		千円	12,759	13,001	13,001	13,584								
		人工数	人	1.50	1.50	1.50	1.50								
	再任用職員人件費		千円												
		人工数	人												
	再任用代替会計年度任用職員人件費		千円												
		人工数	人												
	総事業費		千円	32,759	33,001	33,001	33,584								
	基本施策の現状値							(時点)	R5実績	R6実績	R7実績				
歩道の延長距離 総延長79,763m							令和2年度	80,104m	80,658m	80,949m					
歩道の総面積 226,847㎡							令和2年度	228,511㎡	230,656㎡	231,358㎡					
交差点付近の植樹帯・街路樹を整備し、視界を確保します 1箇所（延長16.5m、幅1.25m、面積23.10㎡）							令和2年度末	2箇所 6.0㎡	3箇所 9.0㎡	1箇所 64.9㎡					
事業の評価	実施方法の妥当性		3	市内全域の管内道路を維持管理するためには、柔軟性の高い単価契約にて工事を行うことが妥当と考える。											
	実施方法の効率性		3	年度間での比較が困難であるため、現状維持とする。											
	達成度（基本施策の実績）		3	基本施策の数値は維持管理工事の結果と直結しないことが多いため、達成度を算出することは困難である。											
	DXへの取組		予定なし				AI・RPA導入の可能性		該当事務なし						
	個別評価	合計点	今後の方向性	(前年度 現状を維持) → E 現状を維持											
			総合評価	管内道路の整備は、安全で円滑な通行を確保し、生活環境の向上を図るために重要な事業である。今後も引き続き計画的に事業を進めたい。											

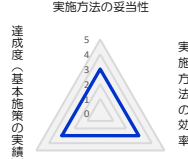
令和8年度 事務事業評価（内部評価）シート（令和7年度実施事業）

事務事業名		都市計画審議会事務										事業開廃年度		昭和62年度 継続	
基本データ	予算科目	款	08	項	03	目	01	細目	003	細々目	01	部	都市計画部	課長	塚本 政
		款名	土木費									課	都市計画課	担当	土屋 亜衣良
	総合基本計画の体系	6快適で利便性に富んだまち 6-⑤ 市街地の整備 まちなみや景観を美しいと思う市民の割合を増やします										係	都市計画係	電話	内線2262
	根拠法令等	都市計画法、昭島市都市計画審議会条例										法令による事業実施義務		☒ 義務(☐ 市上乗せあり) ☐ 任意(☐ 都補助等あり)	
	SDG's17の目標	 11 住み続けられるまちづくりを													
事業の概要	事業概要	対象 市の都市計画					目的 都市計画行政の適正かつ円滑な運営を図る。								
	実施内容	都市計画法第77条の2第1項の規定に基づき設置された昭島市都市計画審議会の運営事務を行う。審議会 は市議会議員5名、学識経験者5名、関係行政機関職員3名及び市民2名の合計15名で構成され、都市計 画に関する事項を調査・審議する。 令和7年度は3回の都市計画審議会を開催し、玉川上水南側地区地区計画の諮問や生産緑地地区の変更等の 諮問の計5件について審議を行ない、答申された。													
事業の実績	事業費（コスト）の推移		(単位)	R6決算		R7当初予算		R7決算		R8当初予算		備考＜特財名称等＞			
	直接事業費		千円	120		145		196		218					
	財源内訳	国庫支出金	千円												
		都支出金	千円												
		地方債	千円												
		その他特定財源	千円												
		一般財源	千円	120		145		196		218					
	一般職員人件費		千円	2,552		2,600		2,600		2,717					
	人工数		人	0.30		0.30		0.30		0.30					
	再任用職員人件費		千円												
	人工数		人												
	再任用代替会計年度任用職員人件費		千円												
	人工数		人												
	総事業費		千円	2,672		2,745		2,796		2,935					
	基本施策の現状値										(時点)				R5実績
昭島のまちなみや景観を「美しいと思う」「やや美しいと思う」市民の割合 57.9%										令和元年度		59.7%	調査未実施	63.6%	
住み続けたいと思う市民の割合を増やします 昭島市に「今後とも住み続けたい」「どちらかというに住み続けたい」と思う市民の割合 81.8%										令和元年度		85.5%	調査未実施	85.6%	
事業の評価	実施方法の妥当性		3	法令に基づく事務であり、妥当である。											
	実施方法の効率性		3	報告、説明にモニターを活用し、紙資料の削減を図った。											
	達成度（基本施策の実績）		4	基本施策の令和元年の現状値と比較し、令和7年度実績は両指標とも現状値以上と なっている。											
	DXへの取組		検討中					AI・RPA導 入の可能性		導入済み（一部導入を含む）					
	個別 評価	合計点 10	今後の方向性	(前年度 現状を維持) → E 現状を維持											
		総合評価	令和7年度は都市計画審議会を3回開催した。議事録作成にはAI議事録システムを活 用し、昨年度から開催通知等をメールで行うなど、事務の効率化を図っている。引き 続き無駄のない適正な運営を行う。												

令和8年度 事務事業評価（内部評価）シート （令和7年度実施事業）

事務事業名		都市計画推進事業								事業開廃年度		令和4年度 継続			
基本データ	予算科目	款	08	項	03	目	01	細目	005	細々目	01	部	都市計画部	課長	塚本 政
		款名	土木費								課	都市計画課	担当	土屋 亜衣良	
	総合基本計画の体系	6快適で利便性に富んだまち 6-⑤ 市街地の整備 住み続けたいと思う市民の割合を増やします（再掲）								個別計画					
	根拠法令等									法令による事業実施義務		☐ 義務(☐ 市上乗せあり) ☒ 任意(☐ 都補助等あり)			
	SDG's17の目標	 11 住み続けられるまちづくりを													
事業の概要	事業概要	対象 市民、事業者				目的 子どもや若い世代も含めた市民にまちづくりへの関心を持ってもらい、市民や事業者とともにまちづくりを推進する。									
	実施内容	市民参画によるワークショップや講演会、まちづくり懇談会等のイベントを開催する。 令和7年度は中学生以上を対象に都市計画や昭島市について学べるカードゲームを体験し、ゲームの新たなアイデアを考えるなど、楽しみながらまちづくりを学ぶイベントを10月に開催し、8名が参加した。													
事業の実績	事業費（コスト）の推移		(単位)	R6決算		R7当初予算		R7決算		R8当初予算		備考＜特財名称等＞			
	直接事業費		千円	17		46		15		71					
	財源内訳	国庫支出金	千円												
		都支出金	千円												
		地方債	千円												
		その他特定財源	千円												
		一般財源	千円	17		46		15		71					
	一般職員人件費		千円	2,552		2,600		2,600		2,717					
	人工数		人	0.30		0.30		0.30		0.30					
	再任用職員人件費		千円												
	人工数		人												
	再任用代替会計年度任用職員人件費		千円												
	人工数		人												
	総事業費		千円	2,569		2,646		2,615		2,788					
	基本施策の現状値										(時点)				R5実績
昭島市に「今後とも住み続けたい」「どちらかというに住み続けたい」と思う市民の割合 81.8%										令和元年度	85.5%	調査未実施	85.60%		
事業の評価	実施方法の妥当性		3	R5、R6は小学生を中心にイベントを行ったため、今回は対象者を中学生以上とし、幅広い世代の市民が都市計画について学び、参加者のアイデアを反映させることができる内容にした。都市計画やまちづくりへの関心を高めることができたため、妥当である。											
	実施方法の効率性		3	R7は職員が作成したカードゲームを使用し、職員が講師やファシリテーターとなって実施することで事業費を抑制している。											
	達成度（基本施策の実績）		4	基本施策の令和元年の現状値と比較し、令和7年度実績は現状値以上となっている。											
	DXへの取組		予定なし					AI・RPA導入の可能性		該当事務あり					
	個別評価	合計点 10	今後の方向性	(前年度 現状を維持) → E 現状を維持											
			総合評価	令和7年度は、中学生以上を対象とし、幅広い世代へのアプローチを行った。昭島市の都市計画や、公共施設を載せたカードを使い、都市計画図を使って点数を集めていくゲームで、ゲームの要素となっている「用途地域」「地区計画」「都市計画マスタープラン」等の制度について職員から説明した上でゲームを体験し、改善点や新たなカードの提案について話した。世代間交流もでき、普段あまり意識することのない都市計画を学ぶ機会になったと好評であった。参加申込は市HPからロゴフォームで行い、通知等のやり取りもメールで行うなど、効率化を図っている。											

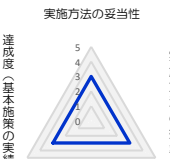
令和8年度 事務事業評価（内部評価）シート （令和7年度実施事業）

事務事業名		公園維持管理事務								事業開廃年度		- 継続			
基本データ	予算科目	款	08	項	03	目	02	細目	001	細々目	01	部	都市整備部	課長	高水 昭利
		款名	土木費								課	管理課	担当	星野 敏明	
	総合基本計画の体系	6快適で利便性に富んだまち 6-⑤ 市街地の整備 市民一人当たりの公園面積を増やします								個別計画		係	公園管理係	電話	内線2179
	根拠法令等	都市公園法、昭島市都市公園条例、施行規則								法令による事業実施義務		☒ 義務(☐ 市上乗せあり) ☐ 任意(☐ 都補助等あり)			
	SDG's17の目標	 13 気候変動に具体的な対策を													
事業の概要	事業概要	対象				目的									
	実施内容	都市公園（45箇所） その他（宮沢広場、拝島緑地広場） 公園等の施設等を良好に維持管理し、来園者に快適に利用してもらう。 45箇所の都市公園、宮沢広場及び拝島緑地広場等の適切な維持管理を行う。 主な業務は清掃、除草、樹木せん定、遊具等の公園施設の維持補修及び整備工事。													
事業の実績	事業費（コスト）の推移		(単位)	R6決算	R7当初予算	R7決算	R8当初予算	備考＜特財名称等＞							
	直接事業費		千円	171,919	277,769	249,407	196,023	【都支出金】 ・地域福祉推進区市町村包括補助金 ・市町村総合交付金 ・多摩産材利用促進プロジェクト補助金 【その他特定財源】 ・行政財産使用料 ・公園（電柱電話柱等）使用料 ・新幹線車両改修事業指定寄附金 ・緑化推進基金繰入金 ・庁舎等光熱水費							
	財源内訳	国庫支出金	千円												
		都支出金	千円		62,400		26,475								
		地方債	千円												
		その他特定財源	千円	21,120	54,044	22,404	22,109								
		一般財源	千円	150,799	161,325	227,003	147,439								
	一般職員人件費		千円	8,506	8,667	8,667	9,056								
		人工数	人	1.00	1.00	1.00	1.00								
	再任用職員人件費		千円	3,346	3,962	4,528	4,942								
		人工数	人	0.70	0.70	0.80	0.80								
	再任用代替会計年度任用職員人件費		千円												
		人工数	人												
	総事業費		千円	180,425	286,436	258,074	205,079								
	基本施策の現状値							(時点)	R5実績	R6実績	R7実績				
市民一人当たりの公園面積 10.84㎡							令和2年度末	10.75㎡	10.75㎡	10.62㎡					
事業の評価	実施方法の妥当性		3	現状維持という点では妥当であると考えられるが、維持管理の効率化については、指定管理者制度の導入や委託方法についてなど抜本的な方法についても検討する必要があると考えられる。											
	実施方法の効率性		3	専門業者による遊具の安全点検を委託にて実施することにより、市内の都市公園等に設置されている遊具の安全性などの状況把握に繋がっている。											
	達成度（基本施策の実績）		3	維持管理については、限られた予算の中では効率的に実施しているが、市民要望は大きくそれを上回っている。											
	DXへの取組		予定なし				AI・RPA導入の可能性		該当事務なし						
	個別評価	合計点 9	今後の方向性	(前年度 抜本的な見直し) → C 抜本的な見直し											
達成度（基本施策の実績） 		総合評価	公園施設老朽化は進行しており、故障等により使用不可となっているなどが散見され、市民要望に対しても現状の体制では維持管理が追いついていない現状がある。公園樹木についても老朽化している樹木が多数あり、台風や強風、大雨時に倒木の危険性が極めて高い状態となっている。また実生木等も増えており樹木台帳についても更新を行い計画的な樹木管理についても実施していく必要があると考えられる。												

令和8年度 事務事業評価（内部評価）シート （令和7年度実施事業）

事務事業名		児童遊園維持管理事務								事業開廃年度		継続									
基本データ	予算科目	款	08	項	02	目	03	細目	002	細々目	01	部	都市整備部	課長	高水 昭利						
		款名	土木費								課	管理課	担当	星野 敏明							
	総合基本計画の体系	6快適で利便性に富んだまち 6-⑤ 市街地の整備 市民一人当たりの公園面積を増やします								個別計画		電話		内線2179							
	根拠法令等	都市公園法、昭島市都市公園条例、施行規則								法令による事業実施義務		☒ 義務(☐ 市上乗せあり) ☐ 任意(☐ 都補助等あり)									
	SDG's17の目標	 13 気候変動に具体的な対策を																			
事業の概要	事業概要	対象 市内児童遊園（49箇所）				目的 児童遊園の施設等を良好に維持管理し、来園者に快適に利用してもらう。															
	実施内容	49箇所の児童遊園の適切な維持管理。 主な業務は清掃、除草、樹木せん定、遊具等の園内施設の維持補修。																			
事業の実績	事業費（コスト）の推移		(単位)	R6決算	R7当初予算	R7決算	R8当初予算	備考＜特財名称等＞													
	直接事業費		千円	86,763	60,386	45,697	62,189	【都支出金】 ・地域福祉推進区市町村包括補助金 【その他特定財源】 ・行政財産使用料													
	財源内訳	国庫支出金	千円																		
		都支出金	千円		17,150		17,700														
		地方債	千円																		
		その他特定財源	千円	38	43	41	43														
		一般財源	千円	86,725	43,193	45,656	44,446														
	一般職員人件費		千円	8,506	8,667	6,067	6,339														
	人工数		人	1.00	1.00	0.70	0.70														
	再任用職員人件費		千円	3,346	3,962	3,396	3,707														
	人工数		人	0.70	0.70	0.60	0.60														
	再任用代替会計年度任用職員人件費		千円																		
	人工数		人																		
	総事業費		千円	95,269	69,053	51,764	68,528														
	基本施策の現状値														(時点)	R5実績	R6実績	R7実績			
市民一人当たりの公園面積 10.84㎡								令和2年度末	10.75㎡	10.75㎡	10.62㎡										
事業の評価	実施方法の妥当性		3	現状維持という点では妥当であると考えられるが、維持管理の効率化については、指定管理者制度の導入や委託方法についてなど抜本的な方法についても検討する必要があると考えられる。																	
	実施方法の効率性		3	専門業者による遊具の安全点検を委託にて実施することにより、市内の都市公園等に設置されている遊具の安全性などの状況把握に繋がっている。																	
	達成度（基本施策の実績）		3	維持管理については、限られた予算の中では効率的に実施しているが、市民要望は大きくそれを上回っている。																	
	DXへの取組		予定なし				AI・RPA導入の可能性		該当事務なし												
	個別評価	合計点 9	今後の方向性	(前年度 抜本的な見直し) → C 抜本的な見直し																	
			総合評価	平成27年度より子育て支援課の担当業務が全て管理課の業務となった。 児童遊園施設は老朽化が激しく、市民要望に対して現状の体制では維持管理が追いついていない状況となっている。 今後は都市公園等と一体的な維持管理も視野に入れ、さらなるコスト改善に向けた検討が必要である。																	

令和8年度 事務事業評価（内部評価）シート （令和7年度実施事業）

事務事業名		公害調査・測定等事務										事業開廃年度		-	
														継続	
基本データ	予算科目	款	04	項	01	目	05	細目	003	細々目	01	部	環境部	課長	井上 聡
		款名	衛生費									課	環境課	担当	小沢 岩夫
	総合基本計画の体系	6快適で利便性に富んだまち 6-⑦ 住環境の保全 <small>市民の健康で快適な生活を守るため、大気環境、水環境、音環境などについての環境基準を全て達成します</small>										係	環境保全係	電話	2298
	根拠法令等	環境基本法、環境確保条例（都）など										法令による事業実施義務		☒ 義務(☐ 市上乗せあり) ☐ 任意(☐ 都補助等あり)	
	SDG's17の目標	 11 住み続けられるまちづくりを													
事業の概要	事業概要	対象					目的								
	実施内容	<p>騒音、振動、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、悪臭防止、地盤沈下、放射能</p> <p>公害に係る環境の調査・測定を実施し、被害の軽減と未然防止に努める。</p> <p>・交通騒音の調査：騒音が顕著とみられる10地点各1回で騒音測定（要請限度）及びその他環境省指定区間の6地点各1回で騒音測定を実施（常時監視）。 ・大気汚染調査：交通量の多い国道16号線小荷田交差点での一酸化炭素、浮遊粒子状物質、微小粒子状物質及び窒素酸化物の定期的な大気モニタリング調査を年2回、瑞雲中学校付近で1回実施。 ・水質分析：多摩川を3地点各6回、多摩川を除く公共用水域を7地点各2回調査を実施した。また、湧水のうち龍津寺、諏訪神社及び拝島大師の3地点各4回の調査を実施。この他に多摩川底生生物調査2地点各2回、多摩川魚類調査2地点各1回ずつ、工場排水調査を年4回実施。</p>													
事業の実績	事業費（コスト）の推移		(単位)	R6決算		R7当初予算		R7決算		R8当初予算		備考＜特財名称等＞			
	直接事業費		千円	9,903		11,137		10,542		11,049		【その他特定財源】 ・工場設置・変更認可申請手数料 ・雇用保険料 ・公文書開示手数料 ・複写機利用料 ・保険返戻金等			
	財源内訳	国庫支出金	千円												
		都支出金	千円	9,749		10,686		10,496		10,970					
		地方債	千円												
		その他特定財源	千円	44		79		46		79					
		一般財源	千円	110		372		0		0					
	一般職員人件費		千円	24,667		25,134		25,134		26,262					
		人工数	人	2.90		2.90		2.90		2.90					
	再任用職員人件費		千円												
		人工数	人												
	再任用代替会計年度任用職員人件費		千円												
		人工数	人												
	総事業費		千円	34,570		36,271		35,676		37,311					
	基本施策の現状値										(時点)		R5実績	R6実績	R7実績
環境基準 大気環境：達成										令和2年度		達成	達成	達成	
水環境：達成										令和2年度		達成	達成	達成	
事業の評価	実施方法の妥当性		3	公害の原因となる物質の継続的な測定により、公害の発生を予見し、未然に防止できている。											
	実施方法の効率性		3	各調査は、時期が重複しないよう調整するなど、計画的・効率的に実施している。											
	達成度（基本施策の実績）		3	公害は、その発生が予見できにくいため、常に監視しておく必要がある。継続的に調査・測定することで公害の兆候を早期に把握し、未然に防止することこそが重要である。											
	DXへの取組		予定なし					AI・RPA導入の可能性		該当事務なし					
	個別評価	合計点 9	今後の方向性	(前年度 現状を維持) → E 現状を維持											
		総合評価	生活環境の現状を把握するため、大気測定、河川等の水質調査、交通騒音調査を定期的に実施した結果、公害による市民・事業者への影響は確認されなかった。今後も継続して調査を実施し、その結果を踏まえながら、必要に応じて適切な指導を行う。												

令和8年度 事務事業評価（内部評価）シート （令和7年度実施事業）

事務事業名		航空機騒音調査事務								事業開廃年度		昭和38年度			
												継続			
基本データ	予算科目	款	04	項	01	目	05	細目	003	細々目	01	部	環境部	課長	井上 聡
		款名	衛生費								課	環境課	担当	小沢 岩夫	
	総合基本計画の体系	6快適で利便性に富んだまち 6-⑦ 住環境の保全 <small>市民の健康で快適な生活を守るため、大気環境、水環境、音環境などについての環境基準を全て達成します</small>								係	環境保全係	電話	2298		
	根拠法令等									法令による事業実施義務		☐ 義務(☐ 市上乗せあり) ☒ 任意(☐ 都補助等あり)			
	SDG's17の目標	 11 住み続けられるまちづくりを													
事業の概要	事業概要	対象				目的									
	実施内容	横田基地を離発着する航空機による騒音 本市は、航空機騒音によって市民生活や都市整備にさまざまな影響を受けており、これらの実態を把握するために航空機騒音調査を実施する。 継続的に固定調査を3箇所（東京都設置分を含む）、移動調査を4箇所で行っている。また、令和7年度は、固定調査用機器（拝島第二小学校設置）及び移動調査用機器の更新を行った。 ・固定調査（常設） ①市役所庁舎屋上（東京都設置）、②拝島第二小学校 ③FOSTERホール（市民会館） ・移動調査（3か月ごとに4箇所で測定） ①拝島第三小学校、②市立昭和会館、③イーストテラス・サブスリー、④旧拝島第四小学校													
事業の実績	事業費（コスト）の推移		（単位）	R6決算	R7当初予算	R7決算	R8当初予算	備考＜特財名称等＞							
	直接事業費		千円	1,653	16,339	14,556	1,985	特定防衛施設周辺整備調整交付金							
	財源内訳	国庫支出金	千円		13,100	11,570									
		都支出金	千円												
		地方債	千円												
		その他特定財源	千円												
		一般財源	千円	1,653	3,239	2,986	1,985								
	一般職員人件費		千円	4,253	4,334	4,334	4,528								
		人工数	人	0.50	0.50	0.50	0.50								
	再任用職員人件費		千円												
		人工数	人												
	再任用代替会計年度任用職員人件費		千円												
		人工数	人												
	総事業費		千円	5,906	20,673	18,890	6,513								
	基本施策の現状値							（時点）	R5実績	R6実績	R7実績				
環境基準 準環境 : 達成							令和2年度	達成	達成	未達成					
事業の評価	実施方法の妥当性		4	現在の実施方法を継続することで、航空機騒音の経年的な推移を把握することができる。											
	実施方法の効率性		4	固定調査（常設）箇所（3箇所：都設置1箇所、市設置2箇所）の他、移動調査箇所（3か月ごとに4箇所）においても測定している。また、限られた予算及び人員の中で効率のかつ効果的な運用に努めている。											
	達成度（基本施策の実績）		4	航空機騒音により市民生活や都市整備機能にさまざまな影響を受けている本市では、航空機騒音の測定・データ収集及び調査結果の公表は重要であり、これらを継続的に実施できているため、達成度は高い。											
	DXへの取組		予定なし				AI・RPA導入の可能性	該当事務なし							
	個別評価	合計点 12	今後の方向性	（前年度 現状を維持 ） → E 現状を維持											
実施方法の妥当性		航空機の飛行ルートの変更等を適切に把握するため、令和3年度に市民会館・公民館に固定調査用の騒音測定機器を新たに整備した。また、令和7年度には、固定調査用機器（拝島第二小学校設置）及び移動調査用機器の更新を行うなど、継続的に安定した騒音測定が可能な状態にしている。今後も引き続き航空機騒音調査を実施し、生活環境の向上に取り組んでいく。													